

平成 30 年度 長崎市自然環境調査報告書：哺乳類・両生類・爬虫類

長崎市自然環境調査員 松尾 公則

1. 相川湿地の整備や野外観察会

《相川湿地整備》

今年度も 12 月にボランティアによる**湿地整備**を行った。

実施日：12 月 8 日（土） 8:30～14:30

参加者：総勢 29 名

長崎大学教育理科（教員 1 名、学生 5 名） 自然共育コミュニティ森のわ（5 名）

時津幼稚園職員（7 名） 長崎北高職員（1 名）

長崎女子短大教員（1 名） 長崎市職員（1 名）

相川自治会の方々にも草刈り等の整備をしていただいた。

相川自治会 8 名

《夜間救出作戦》

河川側から湿地へ移動するカエルたちが河川の石垣を登れないため夜間に救助した。

1 月 31 日（木） 19:00～21:00

ニホンアカガエルの成体 11 個体

《野外実習》

今年度も下記の 4 団体で野外実習を実施した。

2 月 2 日（土） 長崎大学教育学部 3 年生中理 学生 7 名、教員 1 名

長崎大学 C S T 養成講座 中学校教員 1 名 担当者 1 名

2 月 10 日（日） 自然共育コミュニティ森のわ

スタッフ：9 名 参加者：14 家族 33 名

2 月 18 日（月） 長崎女子短大幼児教育科 学生：8 名

2 月 20 日（水） 時津幼稚園年長組 引率者：8 名 園児 40 名

※ 2 月 20 日実施の時津幼稚園の実習は、NBC と K T N の取材を受け、当日夕方のニュースで放映された。

※ 産卵状況

ニホンアカガエルの卵塊数は約 400 卵塊で例年の半分程度であった。また、カスミサンショウウオの卵塊がまったくなかったり、アカハライモリが見られなかったりと、湿地の環境悪化が懸念されてきた。

(1)平成 30 年 12 月 8 日 湿地整備のようす



スコップ等の人力で産卵場所の水場を作っているところ

(2)産卵されたニホンアカガエルの卵塊



整備した止水域には多くのニホンアカガエルの卵塊がみえる

(3)平成 31 年 1 月 31 日 夜間救出作戦で救出したニホンアカガエル



コンクリートの壁を登れない雌

救出し湿地に放したニホンアカガエル

(4)野外観察会のようす

平成 31 年 2 月 2 日：長崎大学教育学部

平成 31 年 2 月 10 日：森のわ



学生も大人も子供もニホンアカガエルの卵塊と触れ合っている

平成 31 年 2 月 18 日：長崎女子短期大学幼児教育学科松尾ゼミ



初めて触ったカエルの卵塊に興味津々

平成 31 年 2 月 20 日：時津幼稚園



前日のカエルの授業で学んだことを、野外で本物で観察中

2. 相川湿地以外の調査結果

(1)長崎市式見町沖『神楽島』（4月）

爬虫類：ヤクヤモリ（成体 2、卵塊 50）、ニホンマムシ（成体 1）

ヤクヤモリは蚊焼沖に浮かぶ『野島』『黒島』と本島だけに生息するヤモリの仲間である。本来の分布地は九州南部の鹿児島県の海岸部であることから、何らかの方法で渡ってきた個体が繁殖しているものと思われる。

(2)長崎市神ノ島周辺（5月）

両生類：ニホンアマガエル（鳴き声）

爬虫類：ニホントカゲ（成体 1・幼体 1）、ニホンヤモリ（成体 1、卵塊多数）

ニホンカナヘビ（成体 1）、シマヘビ普通型（成体 1）

哺乳類：イノシシ（掘り起こし跡）、テン（糞）、イタチ属の一種（糞）

(3)相川湿地（6月）

ヘイケボタルの夜間調査を実施した。

ヘイケボタル：150～200 個体を確認した。特に、林縁部に多数の個体が観察された。

両生類：アカハライモリ スマガエル ツチガエル

哺乳類：イノシシ テン イタチ属の一種 コウベモグラ

(4)千々町・藤田尾町調査（7月）

爬虫類：ニホンヤモリ（成体や卵塊を 3ヶ所で確認した）、シマヘビ黒化型（成体 1）

ニホントカゲ（成体 1）、ニホンカナヘビ（成体 1）

哺乳類：イノシシ（あせり跡）、テン（糞）

(5)川原大池・宮崎ダム周辺（8月）

川原大池

両生類：ウシガエル

爬虫類：ミシシippアカミミガメ、ニホントカゲ、ニホンカナヘビ、ヤマカガシ

哺乳類：アナグマ（巣穴）、テン（糞）

宮崎ダム周辺

爬虫類：ミシシippアカミミガメ ニホンカナヘビ

哺乳類：テン

(6)長崎港の無人島『松島、中ノ島、高鉾島』（9月）

松島

哺乳類：タヌキ（林内でため糞を確認）

中ノ島

爬虫類や哺乳類を確認することはできなかった。

高鉾島

爬虫類：ニホンヤモリ（海岸の岩場の割れ目で成体 1 確認）

哺乳類：タヌキ（海岸の砂地に多数の足跡）

(7)長崎市檜山付近（10月）

檜山町

両生類：タゴガエル（道路脇の森から飛び出した成体1）

爬虫類：ニシヤモリ（海岸の岩場で成体1確認）、
ニホンヤモリ（海岸にある廃屋で成体1確認）

哺乳類：テン（糞）

三重田町

哺乳類：テン（糞）、イタチ属の一種（糞）、イノシシ（あせり跡、ぬた場）

(8)相川湿地の整備（12月）

11月は調査が実施できなかったため12月8日の整備を11月分の調査とした。

(9)長崎市鳴滝地区（12月）

哺乳類：テン（糞）、イタチ属の一種（糞）、イノシシ（あせり跡）

鳴滝地区はシーボルトの鳴滝塾があった場所である。シーボルトはこの近辺で採集したカスミサンショウウオについて記述しているので、今でも生息するかどうかの調査を実施した。しかし、発見できなかった。

(10)相川・あぐりの丘・岩屋神社調査（1月）

相川湿地

ニホンアカガエルの卵塊約100個を確認した。

あぐりの丘

ニホンヒキガエルの抱接個体、雄単独個体、卵塊を確認した。

岩屋神社

カスミサンショウウオの卵塊を確認した。

(11)相川湿地野外実習(2月)

野外実習を4団体で実施した。

(12)池島調査(3月)

調査実施予定である。